

金沢市城北地区開発促進同盟会
からのご要望について

金 沢 市

(H 28 年 4 月)

平成28年度 金沢市城北地区開発促進同盟会要望事項一覧表（回答様式）

連番	区分	平成28年度要望	進捗状況等	関係課
1 幹線道路の整備				
1	継続	(1) 金沢外環状道路の整備促進 ① 東部環状道路（山側幹線）の全面四車線化	国では、引き続き神谷内町～東長江町間（1.8km）の4車線化整備について、平成29年度の完成を目指して進めている。本市としては、残る梅田町～神谷内町間（3.9km）についても4車線化に向けて、東部環状道路建設促進協議会や金沢開発協議会などを通じて、国に要望してまいりたい。	道路建設課
2	継続	② 海側幹線（福久町以西）の建設促進	海側幹線Ⅳ期の市施工区間では、大規模地盤改良工事や金腐川橋梁下部工事を実施している。また、県施行区間でも、浅野川、柳橋川の橋梁下部工事を進めている。今後も県市で連携を図りながら、早期完成を目指し事業を進めてまいりたい。	都市計画課 道路建設課
2 市道の整備及び交通対策				
3	継続	(1) 塚崎・牧町線（牧～釣部間）の道路拡幅改修促進	塚崎・牧町線の改良については、Ⅰ期200m区間を平成26年度に終え、引き続きⅡ期区間の改良に取り組んでいる。平成27年度は、Ⅱ期区間中90mの拡幅改良を行っており、引き続き早期完成を目指してまいりたい。	道路建設課
4	継続	(2) 釣部・不室町線の道路改修促進	釣部・不室町線の道路改良については、現在整備を進めている塚崎・牧町線及び車町・小嶺町線の道路改良の進捗状況を見ながら、待避所の設置や急カーブの改良などの検討を進めてまいりたい。	道路建設課
5	継続	(3) 八田・金沢線（千木大橋）の融雪装置の設置	現在、千木大橋については、道路除雪の一次路線及び凍結防止剤散布箇所になっている。現在、外環状道路海側幹線の整備に伴い、千木大橋の架け替え工事中であることから、除雪計画については、海側幹線の計画と調整を図りながら検討してまいりたい。	道路管理課
6	継続	(4) 北寺・大浦線（北寺大橋）の融雪装置の設置	現在、北寺大橋については、道路除雪の一次路線及び凍結防止剤散布箇所になっており、融雪装置の設置はむずかしいと考えている。今後も除雪及び凍結防止剤の散布により、冬期の交通確保に向け適切な管理を行ってまいりたい。	道路管理課
7	継続	(5) 小坂町南線の融雪装置の設置	平成27年度より工事に着手し、平成28年度も、継続して整備を進めてまいりたい。	道路管理課

平成28年度 金沢市城北地区開発促進同盟会要望事項一覧表（回答様式）

連番	区分	平成28年度要望	進捗状況等	関係課
8	継続	(6) 百坂北踏切の拡幅（歩道）と接続道路の歩道整備	現在、国県市及び鉄道事業者との協議に基づいて、押野、六日市、糸田道踏切の3踏切について計画的な整備を進めることとしており、平成27年度から押野踏切の改良工事に着手している。当該踏切については、この3踏切の改良後に検討してまいりたい。	道路管理課
9	継続	(7) 鳴和町線防災道路の早期整備（山の上町天下台団地への延伸）	天下台団地へ至る区間については、平成23年度に現地調査を行っているが、その調査結果等から災害時の安全確保に関して課題も多く存在し、今後も引き続き研究してまいりたい。	道路建設課
10	継続	(8) 市道卯辰山公園線の歩道整備	平成22年度より歩道設置工事を実施しており、平成28年度も継続して整備を進めてまいりたい。	道路管理課
11	継続	(9) 卯辰山道路（末広線）の改修事業の継続（歩道整備並びに山側法面整備）	末広町線の道路整備は、平成26年度までに540mの整備を終えており、平成27年度は、県道清水小坂線との交差点部の整備を行ったところである。 引き続き、早期完成を目指し整備を進めてまいりたい。	道路建設課
12	継続	(10) 森山小学校北交差点周辺市道（神宮寺元町線）の歩道拡幅改良	現在、限られたスペースの中で交通量も多いことは認識している。平成25年度にスピードの抑制を目的に路面減速表示を行っている。今後については、それらの整備効果を見ながら、交通管理者とも相談し、対応を考えてまいりたい。	道路管理課
3 河川の整備				
13	継続	(1) 柳橋川の改修事業の継続	柳橋川の改修は、これまで国道359号と山側環状道路間について実施し、平成21年度に完了したところである。瑞樹団地区間について、平成7年から平成9年にかけて暫定改修を実施し、必要な幅は確保している。その他の区間も河川改修が必要と考えられているが、馬渡川、柳瀬川などの改修の進捗状況なども考慮し、改修時期を判断してまいりたい。	内水整備課
14	改	(2) 大宮川改修事業の早期完成と流域の冠水対策の充実強化	大宮川の改修について、東山内灘線～河口（1期）区間は、樋管等を除きほぼ整備完了し、東山内灘線～猫橋（2期）区間は、平成28年度より用地買収に着手できるよう平成27年度は用地測量など実施している。早期完成は難しいが、河川整備5年計画に基づき着実に進めてまいりたい。 冠水対策として、松寺町では堤防の嵩上げや逆流防止機能付きの水門設置等の整備で、一定の効果があつたと考えており、大浦町では側溝を順次整備してきており、当面、降雨時には監視カメラ等により、強化した監視体制のもと、パトロールを行い、必要に応じて仮設ポンプによる排水を行ってまいりたい。	内水整備課

平成28年度 金沢市城北地区開発促進同盟会要望事項一覧表（回答様式）

連番	区分	平成28年度要望	進捗状況等	関係課
4 その他の都市整備				
15	継続	(1) 城北市民運動公園及び関連施設の建設促進	当面は、屋内プール（金沢プール）敷地を含む、約9ヘクタールのゾーンについて整備をすることとしている。現在、屋内プール（金沢プール）の建築工事を平成28年8月の完成に向け、鋭意整備を進めており、建物工事完成後に外構工事等の周辺整備に着手し、平成28年度末には、屋内プール（金沢プール）施設全体を完成させ、平成29年春の供用開始を目指す。また、屋内広場については、平成28年度に実施設計に着手するところであり、今後も財政状況を見極めながら、順次、計画的に整備していきたい。	緑と花の課 市民スポーツ課
16	継続	(2) 卯辰山周辺の整備の促進と私有地の竹林等の管理に対する指導援助	卯辰山一帯は、風致地区に指定されていることなどから、基本的に建物の立地を抑制し、自然景観の保全と育成を図る区域として、93haについて都市計画決定を行い、順次、再整備を進めてきている。今後も、財政状況を見極めながら、計画的に取り組んでいく。 また、平成26年3月に策定した「卯辰山公園開園100年魅力向上計画」に基づき、卯辰山公園の立地特性や固有資源を再評価するとともに新たな魅力を付加しながら整備を推進しており、平成28年度には、眺望の丘（仮称）の実施設計及び四百年の森拡張の実実施設計等に着手する。 また、本区域は金沢市斜面緑地保全条例に基づく「斜面緑地保全区域」に指定されており、斜面緑地の保全に関する補助制度のほか、専門家の派遣制度などもあることから、竹林等の私有地の整備に際しては、これらの制度の活用も検討していただきたい。 さらに、私有地の竹林等の整備については、「金沢森づくりサポートバンク」に登録することにより、森づくり専門員による指導や整備に必要な道具の貸し出しを受けることができる。 また、本市と「ふるさとの森づくり協定」を締結した地区に対しては、竹林等の整備費用の8割を支援している。	景観政策課 緑と花の課 森林再生課
17	改	(3) 城北水質管理センター屋上のテニスコート本格整備	浅野運動広場の屋上のテニスコートについては、平成27年度、暫定的ではあるが利用に支障がないように、コート内の修繕やベンチの改修等を実施してきたところである。今後も整備にあたっては建物管理者である企業局と整備の課題等を整理しながら、引き続き、対応を検討していきたい。	市民スポーツ課 企業局建設課 企業局水処理課
18	継続	(4) 森山町小学校の早期改築	森山町小学校の校舎は建築年次が昭和31年と古いことから、現在、校舎の改築に向けた基本設計を進めているところである。基本設計を受けて、平成28年度には実施設計に着手することとしており、今後、出来るだけ早期に工事着手ができるよう取り組んでいく。なお、体育館については、平成25年度に耐震補強工事を終えており、引き続き、使用することとしている。	教育総務課
5 防災都市づくり				
19	改	(1) 東山、馬場、森山、浅野地区等の防火・防災対策の強化と市街地再整備及び地域・町会への支援強化	平成26年3月に防災まちづくり協定を締結した森山地区については、平成28年度も継続してまちづくり協議会と協働し密集市街地の再整備を進めていくこととしている。 これらの地区においては、防火、防災対策として道路側溝の改修など、出来るところから改善を行ってまいりたい。	市街地再生課 道路管理課

平成28年度 金沢市城北地区開発促進同盟会要望事項一覧表（回答様式）

連番	区分	平成28年度要望	進捗状況等	関係課
20	継続	(2) アレフ教団支部施設の早期解体活動への支援 (反社会的団体の規制に関する条例の早期制定)	昨年度、地域住民の皆様が中心となって署名活動にご尽力され、団体規制法の存続及び観察処分の期間更新が決定した。金沢施設は引き続き、国の監視下にあるが、依然として麻原死刑囚の教義を信仰するなどその危険性は明白であり、地域住民の皆さんが常に不安な思いを持っていることは承知している。本市では、地元金沢オウム真理教対策協議会、東警察署、公安調査庁とオウム真理教対策4者会議を定期的に開催し、情報共有を図るとともに地元協議会の皆様の活動助成を行っている。また、25の自治体で構成するオウム真理教対策関係市区町連絡会に参加し、国や国会議員に対する新法制定への要請活動や関係自治体間の連携強化を図っている。金沢施設は、アレフから独立したと聞いており、警察、公安と情報を密にしながら引き続きその動きを注視してまいりたい。	危機管理課
21	改	(3) イノシシ・クマ対策の充実強化	鳥獣による被害を防止するには、「鳥獣を近づけない環境整備」、「電気柵等による農地・農作物の防護」、「有害鳥獣の捕獲・駆除」－これら3つを組み合わせた総合的な対策を集落ぐるみで実施することが重要だと考えている。 このため、これまで、研修会の開催や電気柵・捕獲檻の導入支援、緩衝帯（ヤブの刈り払い）の設置支援、猟友会（有害鳥獣捕獲隊）への支援等を行っている。また、イノシシやクマの捕獲檻にメール自動通信装置を設置し、捕獲後の対応の迅速化や見回り労力の軽減等を図っている。さらに、H28年度からは、新たに市民や関係団体へのクマ出没情報の伝達体制を強化するため、金沢ぼうさいドットコムを活用した迅速なメール配信等に取組んでまいりたい。 イノシシの個体数が増加するなか、今後も引き続き、講習会、現地検討会などを通じ、効果的な捕獲方法や柵の設置方法を指導するほか、捕獲したイノシシの処分作業を軽減するため回収業務に支援するなど、鳥獣害対策の充実強化に努めてまいりたい。	農業振興課 森林再生課
22	改	(4) 同報防災無線の聞き取りにくいエリアの解消	長江谷沿いで職員による同法防災無線の音達調査を実施し、一部聞きづらい地域があることを確認したので、周辺に配置されている同報防災無線のスピーカーの音量や方向を調整するなどの改善を行い、聞きにくいエリアの解消を図った。	危機管理課